

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------------------|-----|------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービスMORE～モア～則松校 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 2月 7日 ～ 令和8年 3月 23日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 11名 | (回答者数) 11名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年 2月 7日 ～ 令和8年 2月 28日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 3月 23日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 5年以上の経験を持つ保育士・児童指導員といった専門職が支援に関わっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 各専門職がプログラムの作成に関わり支援を行なっている。 個別療育では、専門的支援実施計画書を作成している。 一人一人のアセスメントを各専門職の視点から行い、苦手な分野や得意分野を把握し支援につなげている。 | <ul style="list-style-type: none"> 客観的な評価をアセスメントを行うことで強みを生かした支援を行なっていく中で弱みに対する環境調整や配慮を行なっていきたい。 |

| | | | |
|---|--|---|--|
| 2 | 利用者及び保護者の満足度 | <ul style="list-style-type: none"> ・療育などの教育・支援の中で保護者様からの信頼を得ることが出来るようにニーズの把握や問題発生(クレームや事故など)時の対応について優先順位を高く対応を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者様との関係性の中で職員によって信頼度の違いがありクレームとなってしまうことがあるため、今後もミーティングやKYT研修を行うことで統一した対応が出来るようにしていきたい。 |
| 3 | <p>児童発達支援と放課後等デイサービス、両方のサービスを一つの事業所で行っているため、幼児から高校生まで幅広い年齢層の子どもたちが利用しています。そのため、大きい子が小さい子のお世話をしたり、小さい子は大きい子の姿を見ながらマネをしようとがんばったり、お互いに助け合える良い関係やかかわりが出来ている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせた取り組みが出来るように、個別的配慮や支援を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動やあそびの中で、自立に向けた活動を取り入れながら楽しく学べるように療育を工夫しながら行っている。 |

| | <p>事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p> | <p>事業所として考えている課題の要因等</p> | <p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p> |
|---|--|---|---|
| 1 | <p>地域や保護者様との交流、同年代のお子様との関わる機会がない</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集を行っているが地域イベントが閉所日に行われていることで参加することが出来ていない。 ・年間計画として保護者同士も交流できる機会を設けていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・安全面を考慮しながら近くの公園での地域の方との交流を継続していき、地域の活動等の情報収集を行っていく。 ・今後も情報収集を行い、長期休暇の時など参加できる行事やイベントを探していきたい。 |
| 2 | <p>非常時の対応や安全確保についての取組みに関して保護者の方へ情報が伝わっていない</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時、緊急時マニュアルは整備されているが、保護者の方へしっかりと情報が伝わっていなかった。また、避難訓練等も利用児を含めて行っているが、周知不足があり、全体に伝わっていない事がわかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方にも周知していただけるようにSNSやスケジュール表を活用して全体周知に取り組んでいく。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 3 | 定期的なミーティングや会議により業務改善や支援の振り返りの場が確保されていない | ・職員間のミーティング不足により、業務に対する理解度や周知できていない職員もおり業務に支障があったため、改善が必要である。 | ・午前中にミーティングを行い利用児の情報共有や変更点の周知を行っていく。その中で研修を行うことで職員のスキルアップをし今後の支援に繋げていけるようにしていきたい。 |
|---|---|---|---|